

Photoshop クリエイター能力認定試験 スタンダード サンプル問題

第2部実践問題 採点シート

受験番号

受験者氏名

合計

※指定と異なるレイヤーにオブジェクトが作成されている場合は、各レイヤーの作成に関するチェック項目のみ減点するものとする。
※レイヤーが結合されている場合は、◎印のあるチェック項目のみ採点するものとする。

チェック対象	チェック項目	チェック内容	配点	得点
ドキュメント設定 ※“解答_パッケージ.psd”を採点				
	◎ドキュメントサイズ	幅:130 mm、高さ:180 mmに設定されている。(±0.2mm以内のズレは減点しないものとする)	1	
	◎画像解像度	300 pixel/inchに設定されている。	1	
	◎カラーモード	RGBカラー 8bitに設定されている。	1	
	◎ガイド	計4本のガイドが、以下の通り作成されている。(±1mm以内のズレは減点しないものとする) 垂直のガイド(1本) X:65 mm 水平のガイド(3本) Y:10、30、90 mm (すべてできていて2点。不足や位置のズレがある場合は1本のガイドにつき1点減点とする)	2	
	◎ファイル形式	“解答_パッケージ.psd”が上書き保存されている(白紙の場合は0点とする)。	1	
レイヤー「背景」				
	レイヤーの作成	レイヤー「背景」が作成されている。	1	
	◎画像の使用	“星.psd”の画像が使用されている。(ここでは形状については問わないものとする)	1	
	◎画像の配置	星の画像が複数配置され、背景が星空の画像となっている。(目視チェックとし、隙間がある場合は1点減点、拡大・縮小されている場合は1点減点とする)	2	
	レイヤーの統合	レイヤーが統合され、“星.psd”の画像がレイヤー「背景」のみに配置されている。(レイヤーが統合されておらず、“星.psd”の画像が複数レイヤーに渡って配置されている場合は0点とする)	1	
レイヤー「グラデーション」				
	レイヤーの作成	レイヤー「グラデーション」が作成され、「描画モード:通常」、「不透明度:100%」、「塗り:100%」に設定されている。	1	
	◎グラデーションの状態	グラデーションが正しく作成されている。(目視チェック)	3	
レイヤー「ビル」				
	レイヤーの作成	レイヤー「ビル」が作成され、「不透明度:100%」、「塗り:100%」に設定されている。	1	
	描画モードの設定	「描画モード:ハードライト」に設定されている。	1	
	◎画像の使用	“ビル.psd”の画像が使用されている。(ここでは形状については問わないものとする)	1	
	◎画像の切り抜き	“ビル.psd”の画像のビル部分のみが切り抜かれている。(目視チェック)	2	
	◎画像の配置	“ビル.psd”の画像が正しく配置されている。(目視チェック)	1	
パス「作業用パス」、「円形パス」				
	◎パスの使用	“パス.psd”内のパス「円形パス」が使用されている。 (ここではパス名、パスの配置については問わないものとする)	2	
	◎パスの配置	パスが正しく配置されている。(目視チェック)	1	
レイヤー「下部ベタ」				
	レイヤーの作成	レイヤー「下部ベタ」が作成され、「描画モード:通常」、「不透明度:100%」、「塗り:100%」に設定されている。	1	
	◎不透明ピクセルの形状	パスの内部が透明ピクセルとなっており、透明ピクセルの形状が正しい。(目視チェック)	2	
	◎不透明ピクセル以外のカラー	不透明ピクセル以外がブラック(R:0 G:0 B:0)で塗りつぶされている。	1	
	◎パスの境界線の描画	パスの境界線が正しく作成され、境界線のカラーが正しく設定されている。(目視チェック)	3	
レイヤーグループ「歯車」				
	レイヤーグループの作成	レイヤーグループ「歯車」が作成され、「描画モード:通過」、「不透明度:100%」に設定されている。	2	
	レイヤーの配置	レイヤーグループ「歯車」内に、下から「ギア1」、「ギア2」の順となるようにレイヤーが配置されている。	1	
レイヤー「ギア1」				
	レイヤーの作成	レイヤー「ギア1」が作成され、「描画モード:通常」、「不透明度:100%」、「塗り:100%」に設定されている。	1	
	◎画像の使用	“歯車1.psd”の画像が使用されている。(ここでは形状については問わないものとする)	1	
	◎画像のぼかし	2つの歯車のうち、右側の歯車にフィルター[ぼかし(ガウス)...]が正しく適用されている。 (目視チェックとし、ほぼ完成例と同様であればよいものとする)	2	
	◎画像の回転と配置	“歯車1.psd”の画像が反時計回りに25°回転され、正しく配置されている。(目視チェック)	2	
レイヤー「ギア2」				
	レイヤーの作成	レイヤー「ギア2」が作成され、「描画モード:通常」、「不透明度:100%」、「塗り:100%」に設定されている。	1	
	◎画像の使用	“歯車2.psd”の画像が使用されている。(ここでは形状については問わないものとする)	1	
	◎フィルターの適用	“歯車2.psd”の画像にフィルター[網目...]が正しく適用されている。(目視チェックとし、ほぼ完成例と同様であればよいものとする)	2	
	◎画像の縮小と配置	“歯車2.psd”の画像が縦横比を固定して70%に縮小され、正しく配置されている。(目視チェック)	2	
	効果の適用	レイヤー効果「ドロップシャドウ」が適用されている。(ここでは効果の設定内容は問わないものとする)	2	
	◎ドロップシャドウの表現	レイヤー効果「ドロップシャドウ」が以下の通り設定されている。(指定された項目以外の設定により、完成例と見た目が著しく異なっている場合は1点減点。ただし、レイヤー効果を使用していなくても、完成例と同様の表現が適用されている場合は得点とする) 構造 描画モード:乗算 シャドウのカラー:R:0 G:0 B:0(ブラック) 不透明度:60 % 角度:120° 包括光源を使用:ON 距離:120 px サイズ:10 px	2	

レイヤー「ロゴ」			
レイヤーの作成	レイヤー「ロゴ」が作成され、「描画モード:通常」、「不透明度:100%」、「塗り:100%」に設定されている。	1	
◎画像の使用	“ロゴ.eps”の画像が使用されている。(ここでは形状については問わないものとする)	1	
◎画像の縮小と配置	“ロゴ.eps”の画像が縦横比を固定して55%に縮小され、正しく配置されている。(目視チェック)	2	
効果の適用	レイヤー効果「カラーオーバーレイ」が適用されている。(ここでは効果の設定内容は問わないものとする)	2	
◎カラーオーバーレイの表現	カラーオーバーレイが以下の通り設定されている。(指定された項目以外の設定により、完成例と見た目が著しく異なっている場合は1点減点。ただし、レイヤー効果を使用していなくても、完成例と同様の表現が適用されている場合は得点とする) 表示色 描画モード:通常 オーバーレイのカラー:R:255 G:255 B:255(ホワイト) 不透明度:100%	2	
テキストレイヤー「Standard Edition」			
テキストレイヤーの作成	テキストレイヤー「Standard Edition」が作成され、「描画モード:通常」、「不透明度:100%」、「塗り:100%」に設定されている。(ここでは、テキストの入力内容については問わないものとする)	1	
◎テキスト入力	半角文字列「Standard Edition」が正しく入力されている。(誤字・脱字がある場合や、全角文字が含まれている場合は0点。なお、誤字・脱字等について、これ以降の項目では減点しないものとする)	1	
テキストの基本設定1	文字列「Standard Edition」が以下の通り設定されている。(指定された項目以外の設定により、完成例と見た目が著しく異なっている場合は1点減点) フォント:小塚ゴシック Pro B フォントサイズ:24 pt	3	
◎テキストの基本設定2	文字列「Standard Edition」のカラーが「R:255 G:255 B:255(ホワイト)」に設定されている。	1	
◎テキストの配置	文字列「Standard Edition」が正しく配置されている。(目視チェック)	1	
効果の適用	レイヤー効果「シャドウ(内側)」が適用されている。(ここでは効果の設定内容は問わないものとする)	2	
◎シャドウ(内側)の表現	シャドウ(内側)が以下の通り設定されている。(指定された項目以外の設定により、完成例と見た目が著しく異なっている場合は1点減点。ただし、レイヤー効果を使用していなくても、完成例と同様の表現が適用されている場合は得点とする) 構造 描画モード:乗算 シャドウのカラー:R:0 G:102 B:0 不透明度:100% 角度:120° 距離:5 px チョーク:0% サイズ:10 px	2	
レイヤー「帯」			
レイヤーの作成	レイヤー「帯」が作成され、「描画モード:通常」、「不透明度:100%」、「塗り:100%」に設定されている。	1	
◎オブジェクトのカラーと形状と配置	指定の範囲内がR:153 G:0 B:0で塗りつぶされている。(範囲の形状と配置は目視チェック)	2	
◎フィルターの適用	フィルター[ぼかし(移動)...]が正しく適用されている。(目視チェックとし、ほぼ完成例と同様であればよいものとする)	2	
テキストレイヤー「パワフルで…」			
テキストレイヤーの作成	テキストレイヤー「パワフルで…」が作成され、「描画モード:通常」、「不透明度:100%」、「塗り:100%」に設定されている。(ここでは、テキストの入力内容については問わないものとする)	1	
◎テキスト入力	文字列「パワフルで使いやすい。(改行)徹底した現場視点で開発された(改行)CAD システムのベストセラー。」が正しく入力されている。(誤字・脱字がある場合は0点。なお、誤字・脱字について、これ以降の項目では減点しないものとする)	1	
テキストの基本設定1	文字列「パワフルで…」が以下の通りに設定されている。(指定された項目以外の設定により、完成例と見た目が著しく異なっている場合は1点減点) フォント:小塚ゴシック Pro M フォントサイズ:10 pt	3	
テキストの基本設定2	文字列「パワフルで…」が「行送り:13 pt」に設定されている。	1	
テキストの基本設定3	文字列「パワフルで…」が「左揃え:ON」に設定されている。	1	
◎テキストの基本設定4	文字列「パワフルで…」のカラーが「R:255 G:255 B:255(ホワイト)」に設定されている。	1	
◎テキストの配置	文字列「パワフルで…」が正しく配置されている。(目視チェック)	1	
シェイプレイヤー「シール」			
レイヤーの作成	シェイプレイヤー「シール」が作成され、「描画モード:通常」、「不透明度:100%」、「塗り:100%」に設定されている。	1	
◎シェイプの形状と配置	楕円形のシェイプが作成され、形状と配置が正しい。(目視チェック)	2	
効果の適用	レイヤー効果「グラデーションオーバーレイ」が適用されている。(ここでは効果の設定内容は問わないものとする)	2	
◎グラデーションオーバーレイの表現	グラデーションオーバーレイが以下の通り設定されている。(指定された項目以外の設定により、完成例と見た目が著しく異なっている場合は1点減点。ただし、レイヤー効果を使用していなくても、完成例と同様の表現が適用されている場合は得点とする) グラデーション 描画モード:通常 不透明度:100% グラデーション カラー分岐点 位置:0%:R:153 G:153 B:102 (中間点:50%) 100%:R:102 G:102 B:0	2	

テキストレイヤー「HYBRID DVD」			
テキストレイヤーの作成	テキストレイヤー「HYBRID DVD」が作成され、「描画モード: 通常」、「不透明度: 100%」、「塗り: 100%」に設定されている。(ここでは、テキストの入力内容については問わないものとする)	1	
◎テキスト入力	半角文字列「HYBRID(改行)DVD」が正しく入力されている。(誤字・脱字がある場合や、全角文字が含まれている場合は0点。なお、誤字・脱字等について、これ以降の項目では減点しないものとする)	1	
テキストの基本設定1	文字列「HYBRID DVD」が以下の通り設定されている。(指定された項目以外の設定により、完成例と見た目が著しく異なっている場合は1点減点) フォント: 小塚ゴシック Pro H フォントサイズ: 12 pt	3	
テキストの基本設定2	文字列「HYBRID DVD」が「行送り: 14 pt」に設定されている。	1	
テキストの基本設定3	文字列「HYBRID DVD」が「トラッキング: 100」に設定されている。	1	
テキストの基本設定4	文字列「HYBRID DVD」が「中央揃え: ON」に設定されている。	1	
◎テキストの基本設定5	文字列「HYBRID DVD」のテキストカラーが「R:255 G:255 B:255(ホワイト)」に設定されている。	1	
◎テキストの配置	文字列「HYBRID DVD」が正しく配置されている。(目視チェック)	1	
合計		100	